

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
サンデルネット海老名第2低温センター

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010
 評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル								
2 設備騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 負荷変動・追従制御性								
3 外皮性能								
4 ゾーン別制御性								
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御								
3 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4 給気計画								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1 耐震性								
2 免震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
6 主要設備機器の更新必要間隔								

上位3種(給水・排水・屋内消火栓)の給水・排水をBとしている。

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	中央式空調換気設備を設けない計画としている。	3.0	0.19	-	-	-
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				4.1	0.48	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		階高3.9m以上を確保している。 壁長さ比率0.1以上を確保している。	5.0	0.60	-	-	-
	2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり		荷重4500N/m ² 以上を確保している。		5.0	0.31	-	-	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.38	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.17	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-	-
6 バックアップスペース				3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
敷地西側をセットバックさせ緑地としている。								
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮・快適性の向上				2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		積極的な緑化を行っている。		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制				-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.29	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	-	-
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化				5.0	0.43	-	-	5.0
年間仮想照明消費エネルギー量を低減している。								
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=38.8%		5.0		-	-	-
集合住宅の評価				3.0		-	-	-
4 効率的運用				3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング		消費している各種エネルギー量を年間に渡って把握している。		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.24	-	-	-
躯体と仕上げ材の分別が容易な計画としている。								
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.3	0.68	-	-	-
1 消火剤		不活性ガス消火剤を計画している。		4.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0.01未満の発泡剤を用いた断熱材を使用している。		3.0	0.33	-	-	-
3 冷媒		ODP=0の冷媒を使用している。		3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮				3.4	0.33	-	-	3.4
LCCO ₂ 削減率 22%								
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制		敷地内空間にゆとりを持たせた計画としている。		4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制		日影規制を満たしている。		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-